

# これからの4年間を発表します

## 企画政策

**01 長崎空港のコンセッション方式による空港民営化並びに運用時間の24時間化を促進します。**

ミライ都市「スマートシティ・スーパーシティ」構想や規制緩和特区を目指します。MaaS・AI・ICT・IoT・5G・ビッグデータ・オープンデータ・シェアリングエコノミーの最先端技術を活用して、教育、文化、子育て、健康、スポーツ、障がい福祉、高齢福祉など、様々な市民サービスの向上を進めます。V・ファーレン長崎のホームタウン拠点誘致を実現するとともに、大村市の魅力・価値を地域一体となって磨き上げ、大村市に住む方、大村市を訪れる方に感動と誇り溢れる「今」をお届けする「スポーツシュレ」構想として、スポーツ・文化を活かした健康増進や地域創生を進めます。

**02 大学誘致を進めます。**

特色ある大学及び学部誘致を進めることにより、街の教育力向上、次世代産業の人材育成、若者の市外流出抑制と市内・近隣市町への就業、新たな企業誘致や地場企業の振興、地域経済活性化など、更なる街の活性化と人口増加を進めます。

**03 アウトドアアクティビティの充実を進めます。**

大村湾や多良山系の山々、川、空など、自然環境を活かしたアウトドアアクティビティを新たな観光資源として活用します。例えば、森園公園で家族や友人とバーベキューができた時、時には防災拠点としての機能を発揮したり、市内公園と連携したアウトドアランドデザインを進めます。

## 都市整備

**01 「国道34号大村一諫早間拡幅」、「国道34号大村拡幅」、「都市計画道路池田一沖田線」の整備を促進します。**

主要幹線道路の整備促進により、交通渋滞の緩和、広域的な地域間交流や地域の活性化を図ります。総合運動公園の整備を進めます。様々なスポーツ大会の開催、合宿の誘致、スポーツを通じた県内外との交流や関係人口の拡大、市民の健康寿命延伸など、スポーツによる持続的な街づくりと地域活性化を進めます。

**02 都市計画道路の廃止・新規・継続を含めた見直し策定を進めます。**

令和元年に、再評価のための基礎資料となる現況交通量の把握や将来交通量の算定を行います。令和2年度から、都市計画道路について再評価を行い、見直しを行う路線を抽出し、整備方針や整備順位の素案を作成します。その後、住民説明会やパブリックコメントを通して、幅広い市民のお声を聴きながら、令和2年度末に整備方針を決定します。

**03 都市公園の多目的な活用を進めます。**

パークPFIなど民間活力の導入による公園の多目的利用と活性化、防災拠点としての活用など、市民に愛され市内外から多くの観光客が行きたくなる場所へリニューアルを進めます。

## 産業振興

**01 新工業団地「第2大村ハイテックパーク」への企業誘致と全区画完売を目指します。**

地域経済活性化について、商工会議所や中小企業振興会議をはじめとする各種関係団体と連携しながら、スタートアップ、経営相談、売上アップ、新しいモノづくりなど、様々なチャレンジに対して規制緩和と支援策を進めます。「プラットおおむら」内に、インキュベーション施設とチャレンジショップを開設します。「儲かる農林水産業」を進めます。カレーライス、ゆでピー、オムライスやナマコをはじめとした海産物など、大村産物で食卓を囲むプロモーションやブランド化を進めます。

**02 「フラワースィティ大村市」を進めます。**

一年を通して花が咲き誇る街「一人一花10万本の花東大作戦」を進めます。ローマ法王の市内訪問を目指します。令和元年11月に予定されているローマ法王の来日來県に際し、大村純忠・天正遣欧少年使節の功績と潜伏キリシタン関連遺産など、市内史跡への訪問を目指します。

**03 地域公共交通ネットワークの充実を進めます。**

路線バスの利便性向上とネットワーク改善、交通空白地対策などの課題に対し、「空港・新幹線・高速道路インターチェンジを活かした高速交通ネットワーク」、「立地適正計画における拠点を結ぶ幹線バスネットワーク」、「郊外や中山間における支線バスやコミュニティバスなどのネットワーク」という3つの公共交通ネットワークの再構築を進めます。

## 新幹線まちづくり

**01 九州新幹線西九州ルートの新線フル規格化の早期実現を目指します。**

全線フル規格での整備は、定時性・速達性に優れた交通手段であり、新大阪間への直通運行も可能になります。長崎方面はもちろん、福岡・大阪方面への移動時間が大幅に短縮されることに加え、新幹線開業に併せて2つの在来線駅「新大村駅(仮称)、車両基地駅(仮称)」を設置することで、市民生活の利便性は飛躍的に向上します。

**02 新幹線開業アクションプランを進めます。**

長崎空港から約10分、長崎自動車道大村インターチェンジから約1分という全国でも稀に見る立地に恵まれた新大村駅(仮称)の周辺整備、民間活力による駅前開発、回送車両の活用、車両基地を観光資源として活用、速達便の停車本数確保、新幹線を活かしたプロモーション・観光商品づくり・移住定住促進など、市民・企業・団体・地域・行政が一体となったオール大村でのアクションプランを進めます。

**03 大村市を玄関口・中継拠点とした「ハブ&スポーク」機能を高めます。**

空港・新幹線・高速道路インターチェンジを連動させ、国内やアジアの玄関口・中継拠点としての機能を高めます。大村市を中心に、県内外周辺エリアと連携施策を展開することにより、地域経済活性化、統合型リゾート(IR)誘致、インバウンド効果の拡大を進めます。2037年には、東京―新大阪間のリニア新幹線が開業予定であり、将来的に九州新幹線と関西圏の連結ができれば、長崎空港から新幹線を活用したインバウンド効果は爆発的に高まり、アジアの玄関口として長崎空港及び大村市の位置付けは格段に高まります。

## こども未来

**01 待機児童を解消します。**

潜在保育士や子育て支援員の採用、柔軟な働き方や待遇改善など、保育士の雇用拡大を進めます。新たな「子ども子育てプラン支援プラン」を策定し、施設整備のあり方、保育士確保策、保育料減免策など、多様な保育や預かり方を進めます。

**02 ミライon(長崎県立・大村市立一体型図書館及び大村市歴史資料館)を、街づくりに、多目的に、積極的に活用します。**

子どもの教育、大人の生涯学習、文化・芸術の発信、商店街や各種関係団体と連携した地域経済活性化、医療・福祉をはじめとする様々な啓発活動、移住定住促進など、人々の交流拠点として来館者のミライにスイッチonできる企画・運営を進めます。

**03 命を生み、守り、育てるための子育て支援策を進めます。**

出産育児支援、自殺予防、不登校対策など、多様な子育て支援策を進めます。子ども達の身の回りの環境整備として、AEDの使用方法、ライフジャケットの着用、自転車事故防止対策など、様々な安全対策を進めます。

## 上下水道事業

**01 上下水道局庁舎の建て替えと運営形態のあり方を検討します。**

将来的な水需要や老朽化した設備・管路等の耐震化や更新、事業経営の改善、技術継承などの課題に対して、今後も、市民の皆さまに安全・安心な上下水道サービスをご利用いただくため、官民連携の手法や民間活力の導入など、幅広い視点で運営形態のあり方を検討します。

**02 新たな水資源確保を進めます。**

近年の少雨傾向を受け、今後も、市民の皆さまの快適な生活環境を確保すること、農業用水・工業用水などを含めた水需要に対応していくための検討を進めます。

**03 ディスポーザー導入を進めます。**

ディスポーザーとは、生ごみを粉砕し、排水と一緒に排水管に投入する装置のことです。ディスポーザー設置を可能にすることにより、快適で利便性の高い都市環境の整備、生ごみの減量化により全体のごみ排出量の軽減と回収・処分費用の圧縮、バイオマス資源としての有効利用などが期待できます。下水道施設、ごみ処理システム、市民生活への影響などを調査研究します。

## 教育

**01 令和2年度に、新たな「教育大綱」、「第三期教育振興基本計画」を策定します。**

学力向上対策、家庭と学校と地域が一体となった多様な学び、大村市独自の偉人教育など、次世代に向けた人材育成を進めます。小・中学校のエアコン設置に伴い、長期休暇のあり方を検討します。

小・中学校のトイレ洋式化について、国の財源などを活用しながら、計画的に進めていきます。

**02 学校と住民センターの統合により、地域教育拠点としての学校運営を目指します。**

今後、建て替えを予定している学校と住民センターを統合し、複合施設として地域教育拠点のモデル地区とします。新たな複合施設では、地域の大人達を巻き込んだ教育活動や地域活動の充実、災害対応の充実、校庭・体育館・プールの更なる地域開放など、機能的で機動的な施設活用を可能とする新たな学校運営を目指します。

**03 新たな市民会館の建て替えについて検討を進めます。**

新たな市民会館の建て替えについて、時期、場所、手法、規模、財源などを含めて、今後も、市議会や市民、各種関係団体のお声を聴きながら検討を進めていきます。文化ホールとしての機能を、体育館やその他の公共施設の多目的利用、複合化により補うことができないか検討します。

## 競艇事業

**01 ボートレース大村は、全国24場中、売上ナンバーワンを目指します。**

ボートレース大村の最大のミッションは、一般会計に寄与し、市民の福祉向上に資することです。競艇事業の売上と利益の拡大は、大村市における新たな財源確保として極めて重要です。場外発売場について、新たに大分県由布市、鹿児島県始良市の2か所を開設し、全国最多となる延べ15か所の設置を進めます。

施設運営について、更なるお客様の利便性を高めるため、ロイヤルスタンドに外向前売売券所(ブルードラゴン)の移転拡張を進めます。

**02 ボートレース大村の「アミューズメントパーク」化を進めます。**

ボートレース場という概念を覆し、新たなファン層の拡大を図るため、レジャースポーツ・マリンスポーツ・エキサイティングスポーツ・エクストリームスポーツ・eスポーツという「スポーツ」や「エンターテインメント」としてボートレースを捉え、各種イベントの企画・開催による「アミューズメントパーク」化を進めます。

**03 ボートレース大村からはじまる「ソーシャルインベーション」を進めます。**

社会還元活動として、幅広い世代に向けたイベント開催、障がい者(児)の活躍と社会参加支援、パラスポーツの普及、子どもの貧困対策など、日本財団や各種関係団体と連携した「ソーシャルインベーション」を進めます。

## 福祉保健

**01 地域包括ケアシステムの構築とACP(アドバンス・ケア・プランニング)の充実を進めます。**

住み慣れた地域で自分らしく人生の最期を迎えられるように、医療や介護、看護、生活支援などネットワーク体制を構築します。将来起こりうる病状の変化に備えて、医療従事者が患者と家族とともに、患者の医療上の希望、生命維持活動に対する意向、医療に関する代理意思決定者の選定などを行うACP(アドバンス・ケア・プランニング)の充実により、家族と地域と豊かに過ごすため、医療・福祉・介護・地域・行政が一体となって「人生の最期は大村市」を進めます。特定健診をはじめとした各種検診の受診率向上対策を進めます。スポーツや文化・芸術活動を通して、「きょういく(今日、行くところがある)」、「きょうよう(今日、用事がある)」のキッカケをつくり、市民の健康寿命延伸を図ります。

**02 障がい者(児)教育・福祉の充実と社会参加を進めます。**

障がい者(児)の社会参加を促進し、就労支援による雇用機会の拡大と工賃アップ、東京大学先端研科学技術研究センターとの連携による「異才発掘プロジェクト」など、障がい者(児)教育・福祉の充実と社会参加を進めます。

**03 ダイバーシティを進めます。**

インクルーシブ教育・福祉の充実、LGBT教育、パートナーシップ証明など、多様性の理解と共生社会の充実を進めます。手話の発展や普及、手話による教育や様々なコミュニケーションツールの整備など、「手話は言語である」を進めます。

## 総務

**01 安全・安心で災害に強い街づくりを進めます。**

防災ラジオの配布率アップを進めます。自主防災組織率アップを進めます。総合防災訓練を毎年開催します。「平時にできないことは、有事にもできない」という意識を市民全体へ広げます。高齢者の自動車運転事故防止対策を進めます。

**02 内部統制機能の充実を進めます。**

住民の福祉の増進に努め、最少の経費で最大の効果を発揮できるよう、事務の適正化の確保を進めます。適正な行政サービスを提供するため、内部統制機能を組織マネジメントの仕組みとして構築することにより、職員の意識改革、事務処理ミス防止、危機管理意識の向上、コンプライアンスの徹底を図り、市民から信頼される市役所を目指します。

**03 「働き方改革」ではなく「働きたい改革」を進めます。**

市民の多様化するニーズに応え、質の高い行政サービスを提供するため、会議の進め方改革やシステムの導入、業務効率化に向けた取組、時間外労働時間の削減、障がい者雇用の拡大、フレックスタイム制やテレワークの導入など、「働き方」を変え「働きたい」職場環境整備を進めます。職員のメンタルヘルスや健康診査、産休・育休の取得促進など、みんな仲良く笑顔でイキイキと、雰囲気の良い職場環境づくりを進めます。

## 市民環境

**01 オール大村の街づくりを進めます。**

「地域げんき交付金」・「市民いきいき助成金」制度を継続し、地域や市民が主体となった特色ある地域づくりを進めます。地域と行政との意見交換「地区別ミーティング」、市民や各種団体と市長との意見交換「マチノコトーク」、市民総参加スポーツイベント「チャレンジデー」の開催など、市民・企業・団体・地域・行政が一体となった市民総参加オール大村の街づくりを進めます。市役所窓口対応の改善と工夫、効率化など、市民サービスの充実を進めます。

**02 「大村市126.64km<sup>2</sup>が運動場で文化ホール」、思わず運動したくなる!歌いたくなる♪「スポーツ・文化の街」を進めます。**

子どもから高齢者まで、みんなが一緒に楽しめるスポーツ、パラスポーツ、ニュースポーツ、音楽、文化、芸術など、色んな場所でスポーツ・文化に触れ合える機会、雰囲気、環境づくりを進めます。陸上競技場の改修や第2体育館建設整備など、新たな財源確保策を検討しながら、スポーツ施設の充実を進めます。「2020年東京オリンピック・パラリンピック」開催に向けて、出場国とのホストタウン交流や事前キャンプ誘致を進めます。

**03 保護犬・猫の殺処分ゼロと里親制度の充実を進めます。**

野良猫の不妊・去勢費用手術費の全額助成事業を拡充します。長崎県動物管理所に保護されている犬や猫の里親譲渡会の普及や啓発強化、アニマルセラピーを目的とした高齢者・障がい者施設との里親マッチング事業を進めます。

## 財政

**01 新庁舎整備を進めます。**

市民の多様化するニーズに応え、質の高い行政サービスを提供するために、ワンストップ窓口対応、利便性の高い申請手続き、高い耐震性と防災システム、優れた環境性能、ユニバーサルデザインなど、最新技術を活用したスマート庁舎の整備を進めます。市民と職員及び職員間のコミュニケーション環境の充実、電子決裁・文書管理システムなどの導入による意思決定の迅速化とペーパーレス化を進めます。時間や場所にとらわれないフリーアドレス環境やモバイルツールの活用により、機動力と業務の質を向上させ、地域課題へ迅速かつ的確な対応を進めます。

**02 「アセットマネジメント事業計画」を進めます。**

今後の人口動態や街づくりの視点から「アセットマネジメント事業計画」、「公共施設等総合管理計画」に基づき、老朽化した公共施設などの再整備(廃止・新築・改修)と再配置を進め、機能的で機動的な市民サービスの拠点整備を進めます。

**03 行財政健全化と新たな財源確保を進めます。**

「補助金等の在り方に関するガイドライン」、「歳入確保対策基本方針」、「財政運営基本方針」に基づき、更なる事務事業の見直し、行財政健全化の推進、市民サービスの充実を目的に、更なる民間活力の導入を検討します。市有地の積極的な売却と整理、資産活用による新たな財源確保を進めます。